

組合基本方針 組合の団結と調和 日本一の工業団地を目指す！

第37回 通常総会開催のご報告

流山工業団地協同組合 総務委員会 委員長 小野 幸一

第37回の通常総会が3年ぶりに来賓を迎え、無事に終了しました。この総会は私たち流山工業団地協同組合にとって特別な意味を持つものであり、大変感慨深いものでした。

まず、来賓の皆様にご心から感謝申し上げます。皆様ご多忙の中、私たちの総会・懇親会にお越しいた



だき、貴重なお時間とご意見をいただきましたことに深く感謝しています。来賓の方々の存在は、私たちにとって大きな刺激となり、また改めて私達の組合は色々な方々のご支援とご協力によって成り立っている事を強く感じるものでした。

総会では、過去の業績を振り返るとともに、将来の展望についても議論しました。多くのメンバーが自身の専門知識や経験を共有し、より良い未来を築くためのアイデアを出し合いました。さまざまな視点からの意見が寄せられ、その多様性が我々の組織の強さを示すものであることを実感しました。

総会ではまた、新たな役員を選出も行われました。洞下理事長リーダーシップのもとで、私たちはより効果的な戦略の策定と実行を目指します。役員の皆様には、信頼と期待を寄せています。私たち一人ひとりが協力し、連携して目標に向かって邁進していきたいと思えます。

さらに、総会では活動報告や予算案の承認も行われました。これにより、私たちの取り組みや資金の使途が透明性を持って管理されることとなります。組合員の皆様のご支援に感謝し、信頼を裏切らないよう努めてまいります。

最後に、本総会をもって安藤孝員外理事と池森政治相談役が退任されました。お二人が私たちに提供してくださった貴重な時間とエネルギーに対し、心から感謝申し上げます。お二人のご尽力によって、私たちはより良い組織を築くための道筋を示され、大いに助けられました。お二人の退任後も、お二人とのお縁を大切に、お二人が培ってこられた価値観と目標を引き継ぎながら、組織の未来へと進んでいきます。私たち流山工業団地協同組合は、さらなる発展と成長を目指して邁進していく所存です。

組合年度方針

共同受電の契約種別の研究、検討
組合と新川耕地の経営環境と雇用の発展
新たなる方法による共同事業の検討
感染症に関する対応と各種情報の提供

生産性向上支援訓練

「オンライン プレゼンテーション技術」



講習会を受講して

(株)ファンケル美健 張替 敬二

私はこの度「オンラインプレゼンテーション技術」の講習会に参加し、「資料の作成方法」や「伝えること」について大きな気づきを得ることができました。

これまで独自で参考書やインターネットによる情報を頼りにPower Pointを使った資料を作成しておりましたが、今回講師の方による資料の作成方法や見せ方の工夫、具体的な事例と身振り手振りによるプレゼン技術を実際に目の当たりにすることができ、今後の資料作りに大いに参考となる機会となりました。

特に印象深かったのが、「PREP法」と呼ばれる結論ファーストで資料の構成をすることと、「伝え方のテクニック」です。

「PREP法」とはPoint（結論）・Reason（理由）・Example（具体例）・Point（結論）という資料の文章構成のことで、これを使うことでこれまで漠然としていた資料のストーリーが整理され、聞き手に納得感を与えることができる資料となりました。また、「伝え方のテクニック」については、使用するフォントやフォントサイズ、間隔、配置などについての実例を学び、これまで感覚的に作成してきた資料がこのテクニックを使うことでわかりやすく整理され、「伝わる」資料に変貌を遂げました。

今回の講習会では学んだことをすぐに実践、実感することができ、個人のスキルアップに繋がる内容でした。また機会がある際にはぜひ参加してみたいと思います。

生産性向上支援訓練「オンラインプレゼンテーション技術」を受講して

(株)ファンケル美健 千葉工場 製造第二G 基礎包装T 堀 有沙

オンラインプレゼンテーション技術のご講演は、説得力があり、自身の中での納得感から、この技術を使ってみたく感じさせられるものでした。その理由として、私たちの身近な事例が具体例として挙げられていたこと、そしてその技術の効果は、受け手側の視点に立った時に自然と共感できたからです。

ご紹介いただいた技術の中で印象深いものの一つとして、“話す順序は「差分→共感→決め手」ではなく「共感→差分→決め手」である”という内容がありました。これはテレビ通販で常用される技術だそうです。これを聞いて、学生時代に経験した、家電量販店で説明販売員のアルバイトを思い出しました。当初はとにかくたくさん売りたいと一生懸命に説明していましたが、結果として気持ちよくお買い上げいただけた時と、思うように売れなかった時がありました。今思い起こすと、上手くいった時は、まずお客様の共感を得ることが先行していたと感じます。これは、悩みの共感というファーストステップで、今出会ったばかりの他人どうしの距離感が一気に縮まり、その後の商品違いの説明や、何故オススメなのかに耳を傾けてもらいやすくなったからだ、改めて納得しました。

その他にも、資料の作成方法や話し方など様々な技術紹介がありました。発表は聞き手のもの、資料は読み手のものという概念はあったものの、それを具体的にどうすれば聞き手、読み手に共感してもらいやすくなるのかを手法として学ぶことができたことは非常に有意義でした。

動画による企業PR～動画撮影及び動画編集のポイント～ を受講して



1月26日に開催されました講習会の受講機会をいただき誠にありがとうございました。前講習「YouTubeを利用した動画によるPRについて」に引き続き、本講習では、主に動画撮影するコツや撮影機材の重要性を学びました。

講習は和気あいあいとした雰囲気、講師のインプリメン(株)木村社長にレクチャーを受けながら、実際にスマホのカメラを起動して、動画を試し撮影したり、撮影機材を触ったり出来ました。

広報として写真撮影の機会をいただく際に、構図や物撮りが上手に決まらないこともありましたが、動画撮影のコツからグリッド線やカメラ位置等気を付けたら、画角

に収まるようになりました。

街中で見かけたスマホ撮影用の手持ち機材は、個人でも購入しやすいお手頃価格でした。また講習会でご紹介いただいた、写真加工アプリ「Pro Camera by Moment」や動画加工アプリ「VideoLUT」も1,000円前後とお手頃なので、スマホ撮影用手持ち機材とアプリも購入し、試しに動画撮影をしてみたいと思っています。

そして先日当社商品「熱中アラーム」の紹介動画が、流山市初の社会人サッカークラブ NAGAREYAMA F. C. のSNSにおいて、公開されました。



動画自体はNAGAREYAMA F. C.の方が主体で制作していただきましたが、一連の動画講習を受講したおかげで、どのような動画でどこにセリフがあればいいのかなど制作に協力していく中、コンセプトやイメージの共有がスムーズにできました。重ねて感謝申し上げます。

左記はNAGAREYAMA F. C.のSNSです。よろしければご覧ください。

<https://www.tiktok.com/@nagareyamafc/video/7222565080091675905>

※動画は、ユーザー登録なしで閲覧できます。

サンコーテクノ(株) 川崎 美南海

組合の花 増子洋子職員 送別会



流山工業団地協同組合 副理事長 大塚 秀高

令和5年3月29日(水) バーン&フォレスト148に於いて、増子職員の送別会を組合関係者大勢の方々と上坂前専務理事を交えて開催されました。

増子職員は、平成4年3月に組合に入社以来、初代岩佐理事長より現洞下理事長迄5代にわたる理事長の下、31年間組合経理の職務に精励され、

平成17年には優良専従組合役職員として全国中央会会長表彰を受賞致しました。

祝宴の中で洞下理事長より、長年のご功労に感謝の言葉と感謝状が送られ、菊地顧問・熊本相談役・上坂前専務理事、次々と労いの言葉が送られました。わたくし達も代わる代わる増子さんに感謝の言葉をかけにいきました。終始笑顔で対応下さる増子さんの、この笑顔に31年間組合関係者・従業員の皆さん癒されてきたんだよねえ

今後のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、増子職員送別会が盛会に終了したことをご報告申し上げます。



事務局だより

2月28日(火) 献血協力 13社 51名のご協力をいただきました
4月19日(水) 健康診断 67名受診
4月29日(土) 電気設備点検
5月 3日(水)、4日(木)、5日(金) 電気設備点検
6月21日(水) 献血協力予定
7月22日(土) 組合ゴルフコンペ開催予定

組合 BCP の見直し

当組合は、共同受電事業を実施していることもあり、令和3年に作成した事業継続計画を策定しましたが、その後P D C Aが実施されていなかったことから令和5年2月1日(月)に、事継舎 佐藤先生に講師をお願いし、計画見直しの講習を開催しました。

令和3年に作成したタイムテーブルで業務や、関係先リスト等変更点があれば修正をする。期限を切って見直しをする等基本について教えていただきました。

また、当組合の防災計画にもある災害対策本部の設置については、発災後当面の間は事務局で対応することになるので、どのようにするべきかを本年度検討をすることになっております。

編集後記

今、「チャットGPT」という人間がする質問をAIが回答するという技術に注目が集まり、また、問題視されています。

「チャットGPT」の主要機能は「人間同士の対話を模倣すること」だそうです。

使い方によっては便利なものではありますが、一方でこれに頼りすぎると人間の考える力が退化しAIに振り回されることになるのかもしれない。

この編集後記も締め切り当日に書いております。これをチャットGPTに書かせようと悪巧みをしました。

「流山工業団地ニュース 編集後記 書いて」と質問し、その答えは「環境負荷の軽減とエネルギー効率の向上を目指した取り組みや、地域社会との協力体制を構築しております。地域の環境保護やサステナビリティの向上に努め、企業の社会的責任を具体的な形で示すものとなっております。」(一部抜粋)

体裁は整っておりますが・・・これが蔓延してしまったらつまらない団地ニュースになってしまいそうですね。

人間らしくユーモアを持っていきましょう。

熊本 匡史

流山工業団地協同組合

編集・発行：におどり次世代会

〒270-0107 千葉県流山市西深井1028-46

☎ 04(7153)3001